

御城印スタンプラリー指南

スタンプを押す順番や配置は
お好みに合わせて自由自在!

その1 用紙をGETすべし!

【配布場所】

- 彦根城博物館(有料エリア、開館時間8:30~17:00 入館は16:30まで)
- 水口城資料館(有料エリア、開館時間10:00~17:00 ※木・金曜日休館)
- 近江鉄道 米原駅、彦根駅、八日市駅、貴生川駅、近江八幡駅
(1デイスマイルチケット購入者限定 ※希望者は購入時に駅員へお伝えください)



その2 城名のスタンプを押すべし!

【彦根城 スタンプ】彦根城内天守前事務所(有料エリア、開場時間8:30~17:00)

【水口城 スタンプ】水口歴史民俗資料館(有料エリア、開館時間10:00~17:00 ※木・金曜日休館)
※「水口城」の文字: 出典書籍「巖谷一六書行書千字文」(水口町立歴史民俗資料館編)



その3 さらに追加で紋スタンプを押すべし!

【井桁紋 スタンプ】近江鉄道彦根駅

【葵紋 スタンプ】近江鉄道水口城南駅
家松山大徳寺 寺務所(客殿) (受付 8:30~16:30)

金色の葵紋!!

注) 参加は無料ですが、用紙配布場所やスタンプポイントに入場する際に、所定の入場料が必要となります。
各開館・受付時間内にお越しください。また、休館日や寺院行事中等の対応はできかねますので、
予めご了承ください。スタンプ押印後、インクが乾くまで手擦れ等にご注意下さい。



現在の様子



彦根城/金亀(こんき)城
慶長9年(1604)築城/元和8年(1622)完成
井伊家(家紋:彦根橋、旗印:井桁)
30万石
彦根市、長浜市、米原市、東近江市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町

水口城/碧水(へきすい)城
寛永11年(1634)
加藤家→鳥居家→加藤家(家紋:下り藤)
2.5万石
甲賀市、日野町

江戸時代の城の典型として世界遺産をめざす
城の空間構造と外観(※)によって安定的な政治体制を維持した江戸時代の城の中でも、最も理想的な姿を今も見る事ができる唯一の城です。
※空間構造:石垣や堀によって隔絶された内側に大名と全ての重臣が集住することで、独立した体制を固定化しています。
外観:天守や櫓などが織りなす象徴的な外観によって、武士が統治する権威と責任の所在を可視化しています。

三代将軍徳川家光の宿館
江戸時代、将軍専用の宿泊・休憩施設として御茶屋御殿が建てられました。将軍の京都上洛に備え、滋賀県に設けられた4つの御茶屋御殿(※)の内の一つが水口御殿です。実は、将軍が泊まったのは家光の1回だけ。その後水口藩主の居城となりましたが、幕府からの預かり物として本丸内部の御殿は使用されず、大切に管理されていました。
(※他3つは、永原御殿(野洲市)、伊庭御殿(東近江市)、柏原御殿(米原市))

ココがすごい!

【主催】彦根城世界遺産登録推進協議会(滋賀県・彦根市) 【協力】(一社)甲賀市観光まちづくり協会、近江鉄道株式会社

【事務局】滋賀県文化スポーツ部文化財保護課彦根城世界遺産登録推進室 〒520-8577滋賀県大津市京町四丁目1-1 TEL.077-528-4682 mail.hikonejo@pref.shiga.lg.jp
令和5年6月発行

近江鉄道 『1デイスマイルチケット』
で出かけよう!
自分で作る 御城印スタンプラリー

「彦根城」オフィシャル御城印
販売場所:彦根市開国記念館
料金:300円

江戸時代の城 彦根城 × 水口城

期間 7月1日~12月10日

「水口城」オフィシャル御城印
販売場所:水口城資料館、甲賀市ひとまち街道交流館(月曜休館)
料金:300円

史跡 水口城跡

※現在橋は渡れません。出丸(水口城資料館)には行けます。



彦根城世界遺産登録推進協議会

